

SGX808  
DMZ 機能

ヤマハ株式会社  
2015年7月 第1.00版

## 更新履歴

更新日付	バージョン	内容
2015.07.15	1.00	初版発行

## 目次

1	概要 .....	4
2	制約条件 .....	4
3	対応機種とファームウェアリビジョン.....	4
4	詳細 .....	5
4.1	DMZ Settings .....	5
4.2	DMZ Address .....	5
4.3	Except TCP port 80.....	5
4.4	“Apply” ボタン.....	5
4.5	“Reset” ボタン.....	5

## 1 概要

本ドキュメントは、SGX808 の DMZ 機能について記述したものです。

DMZ(DeMilitarized Zone)は、直訳すると非武装地帯/非武装領域となり、セキュリティ対策が行なわれていない領域、つまり盗聴や改竄の容易な領域のことを意味します。この領域を設けることにより、外部からの不正なアクセスで DMZ 内のサーバに問題が発生した場合でも、内部のネットワークに与える影響を最小限に食い止めることができます。

本機に実装する DMZ 機能は、WAN 側からの通信を、LAN 側の特定のパソコンへ転送する機能となります。ポートフォワーディングと似ていますが、DMZ 機能ではポート番号やプロトコルなどの細かな指定がありません。(※tcp の 80 は対象外にはできません。) また、DMZ ホストとしては IP アドレスを指定しますので、DMZ ホストとなるサーバには固定アドレスを設定しておく必要があります。

動作の優先度としてはポートフォワーディングの機能が先に適用され、その次に本機能が適用されます。

## 2 制約条件

本機能において、以下の制約条件を設けています。

1. DMZ ホストとして設定できるのは 1 つだけです。
2. IPsec との併用ができません。IPsec を使用する場合は本機能を Disable にする必要があります。

## 3 対応機種とファームウェアリビジョン

本機能は以下の SGX808 のファームウェア上で利用できます。

表 3.1 対応機種とファームウェアリビジョン

機種	ファームウェア
SGX808	Rev.1.00.13 以降

## 4 詳細

[Network]タブ→左メニュー[Firewall]→[DMZ]を押下することで、設定画面を開くことができます。

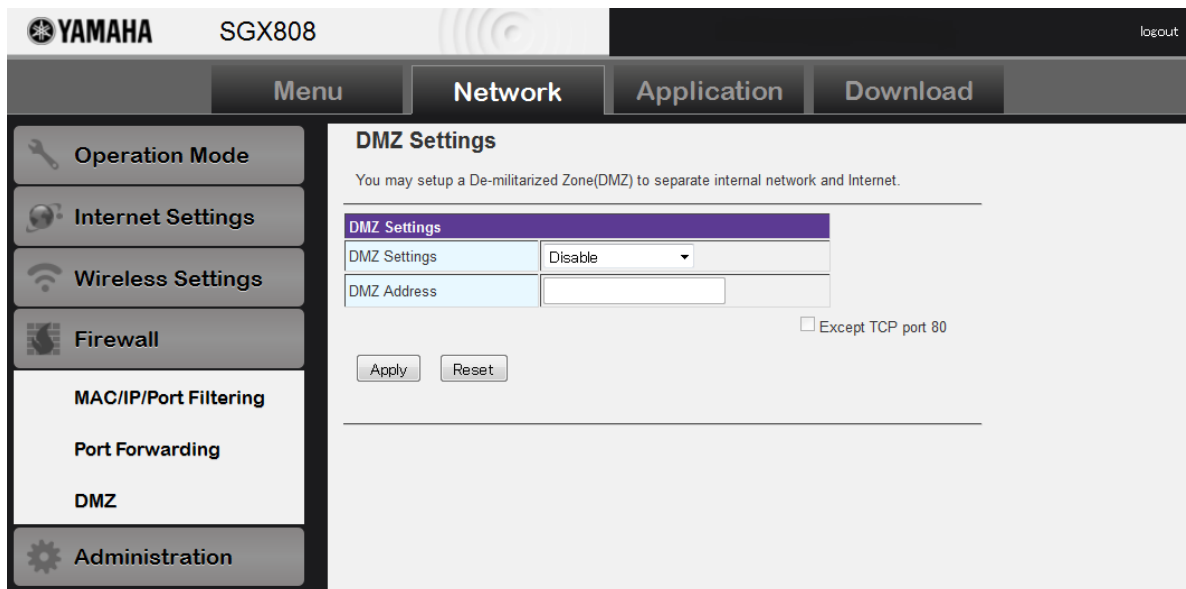


図 4.1 設定画面

### 4.1 DMZ Settings

“Disable”/“Enable”から選択設定します。デフォルトは“Disable”です。

### 4.2 DMZ Address

DMZ ホストのアドレスを入力します。

### 4.3 Except TCP port 80

TCP ポート番号の 80 宛てのものは、対象外にするかどうかをチェックします。デフォルトはチェックされていません。

### 4.4 “Apply” ボタン

設定した情報を記憶し、動作に反映します。

### 4.5 “Reset” ボタン

入力途中の設定情報を“確定”ボタンを押す前の状態に戻します。